

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

＜編集発行＞

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361 (FAX 兼)
議会 042- 724-2171

yoshidaben@gmail.com



外部監査人の指摘と意見とは

町田市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理のうち必要と認める特定のテーマを選定し、年1回以上の監査を行うものです。その外部監査人は公認会計士や弁護士が選任されますが、現在は公認会計士の谷川淳氏が就任(別途:監査補助者4名)しており、今回は「経済観光に関する財務事務の執行について」という包括外部監査報告を行いました。



観光施設では、「町田薬師池公園 四季彩の杜」がメインに取り上げられています。その中で、新しい拡充施設である「西園」の盛況ぶりを評価し、一方で旧来施設のハード面の改修による刷新を提案しています。また、管理運営面では、リス園、ぼたん園、ダリア園などが市の所管部門がそれぞれ異なることの非効率性を訴え、その改善を求めています。肯定的な面はありますが、果たして、町田市は観光客を呼び込んで経済的な生業の基にする観光都市なのか?と問えば、そうではなく、そこに過大な投資をしたとして、他の観光都市や有名な観光施設と並びうるものになれないでしょう。ならば、町田市民の憩いの施設、潤いのエリアに位置づけるべきものと思います。

出生数 80 万人と学校施設建設

昨年の出生数が 80 万人を切って、79 万 9728 人となったことがトップニュースになりました。この少子化が将来の年齢構成に大きな影響を与え、日本は高齢者であふれる現象がますます社会問題とされるでしょう。私自身はその傾向に先駆けて、就業年齢を拡大し、人が高齢者になっても長期間働く社会になっていき、子どもや若者を育てる側にあるべきだと主張してきました。

一方で、今日時点で将来の人口予測、年齢構成予測を固定的にとらえず、あくまで暫定的な数字、幅を持った対応を取るべきだと考えています。例えば、町田市は「まちだ未来づくりビジョン 2040」を比定し、小中学校の再編成(建替え)を想定し、拙速に実行に移すことで、多くの軋轢をもたらしています。小規模校を排し、全域で統合を目指すものですが、町田市の都市形態や人口動態は、相模原市橋本にリニア新幹線駅ができる(2030年より以前)と大幅に変わるでしょう。他方で、人口減少が目立つエリアもさらに出てくるでしょう。行政がガチガチの都市形態を決め込むことは適切な施策ではないと考えており、現行の学校統合案には賛成できません。



議長時代、町田駅長さんと記念写真

◎町田市で、水耕栽培メロンの世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
春季の第51期生を募集開始

ウイーク神山の宿泊と人気度

(前回の続き記事) このウイーク神山は、その案内文に、「いつもの仕事を違う場所で徳島県神山町にある、築70年の古民家を再生した食堂棟、すべての部屋から眼下に鮎喰川をのぞめる宿泊棟からなる宿泊施設です。」と記しています。都心の事務所に加え、この地で古民家を改装した「えんがわオフィス」を造り、サテライトオフィスとして事業展開している隅田 徹氏が、このウイーク神山を建設したもので、斬新なデザインと室内からの眺望が優れています。



徳島県神山町にある「ウイーク神山」に宿泊、前面のガラス越しに溪流、はかどる仕事2023年2月8日

部屋数は1桁以内ですが、宿泊をウイークで取り、部屋には広めのデスクを用意し、ここで仕事ができることを売りにしています。視察ゆえに、自分が1泊で終えたことは残念でしたが、施設内には、宿泊者が時間無制限で話せるスペースも確保されています。また、別棟でフロント&食堂がありますが、そこは週末には夜も営業しているということでしたが、視察ゆえ、それらも日程から外しました。

あの星野リゾートとは全く異なった方法、つまり、隅田氏のビジネス機能を充実させる路線は、全国に新たな宿泊スタイルを作り出していました。

住宅地と鳥の巣の関係：人と身近に生息

「つくし野ビオトーププロジェクト」が主催した「鳥の巣箱の確認・再取付」に、小学生らと参加しました。まだ、コロナ期内と言うことで、「巣箱作り」を外したメニューでした。この周辺に生息する鳥の話と営巣の特徴について説明を聞きました。この付近で生息する目立つ鳥には、「シジュウカラ」(四十雀)と「すずめ」と言うことでした。「四十雀」は、すずめ四十羽に相当するほど珍しいとされるものですが、現在ではすずめが極端に減っているのが特徴です。

つくし野小学校内に、昨年は巣箱が15カ所設置されており、巣箱で営巣、子育てが行われていたのは全部で11カ所でした。巣箱には「ひとつがい」の鳥が営巣し、子育てが終われば、家族全部が巣箱から離れて行くそうです。それでこの時期の巣箱には空いており、それらの巣箱内をお掃除し、室内をきれいにしました。また、巣箱の営巣状況は、校門付近やグラウンドの遊具付近が極端に高くなっていました。不思議に思ったことですが、「シジュウカラ」や「すずめ」は、人に嫌われるカラスなどの大きな鳥が天敵であり、特に住宅地においては、人に身近な場所で巣作りをする習性を身につけているというものでした。



学校教育の一部に取り入れられることを願う

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年10月末までに104名が参加する。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。